



タイヤジャーナリスト 渡辺 剛満

第89回 「タイヤ業界に伝わる、気候の法則」

どの業界に「〜のときは、〜になる」といった傾向を意味するもので、タイヤ業界にもいくつかあります。その中で最も代表的な法則は「雨が降るとタイヤ屋が儲かる」です。

るかと思えます。

「〜のときは、〜になる」といった傾向を意味するもので、タイヤ業界にもいくつかあります。その中で最も代表的な法則は「雨が降るとタイヤ屋が儲かる」です。

次の法則は「夏が暑いと冬は大雪になる」です。過去の気候を調べると、そういう傾向が顕著に表れています。特に今年の夏は、日々のタイヤ交換で身体を鍛えた者でも、20分おきに休憩を取らないと命の危険を感じるほどの暑さでした。

今年、多数のタイヤメーカーから同類のオールシーズンタイヤが発売されています。ただし、最初は5分以上かかりましたから、走行するのがベストです。トラックの場合は、スタッドレスタイヤとチェーンのW装備が基本です。私も今

いいでしょう。つまり、今年の冬は「超大雪」になることが予測できます。

そこで提案したいのが、次の3点です。まずは、乗用車のタイヤ選びについて、冬場に長距離移動をする場合は、最低でも「高速道路でチェーン規制がかかっても通行できるオールシーズンタイヤ」を装着してほしいです。

今年、多数のタイヤメーカーから同類のオールシーズンタイヤが発売されています。ただし、最初は5分以上かかりましたから、走行するのがベストです。トラックの場合は、スタッドレスタイヤとチェーンのW装備が基本です。私も今

年はチェーンの出番が多いことを考え、夏場にチェーンの脱着練習を試みました。さらに乾燥路の走行可能距離が600キロ以上もある「ケープルチェーン」(SCC社製、シングルタイヤ対応)を用いてチェーンを巻いてみると、確かに4、5回練習すれば、2〜3分以内で簡単に装着できます。ただ、最初は5分以上かかりましたから、



「もう10月」だと考えて、早めのタイヤ冬支度を始めてくださるようお願いいたします。